



2017年9月期 第1四半期 決算補足説明資料

2017年2月3日 株式会社フィックスターズ（東証一部3687）



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があります。あることをご承知おきください。

1. 2017年9月期 第1四半期決算説明
2. 2017年9月期 通期業績予想

1. 2017年9月期 第1四半期決算説明
2. 2017年9月期 通期業績予想

業績

- 対前年同期比減となるも、期初予算通りの順調な売り上げ
 - ハードウェア比率の上昇、マーケティング費用等の販管費増加により利益率が悪化
- 売上高： **1,032百万円** (前年同期比 ▲2.6%)
営業利益： **124百万円** (前年同期比 ▲31.4%)

セグメント

ソフトウェア・サービス

- 昨今のエンジニア需給ひっ迫による社員数の伸び悩み及び一部案件の仕掛計上により前年同期比減
- AI等の新規事業関連の案件が増加。レベニューシェア等新たなビジネス形態の構築を目指し先行開発を開始

ハードウェア基盤

- ものづくりとITの融合をめざす業界団体“IVI (Industrial Value Chain Initiative)”向けに、大容量高速ストレージ・サーバ“Olive”の実証実験が進行
- さらなる引き合い増加を狙い、日経テクノロジーonlineに“Olive”の特集記事を掲載
- 画像処理プロセッサ搭載演算ボードが大きく上振れ



2017年9月期 第1四半期 決算概要：損益計算書

対前年同期比減となるも、期初予算通りの順調な売り上げ
ハードウェア比率の上昇、マーケティング費等販管費増加により利益率悪化

(単位：百万円)

項目	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	通期業績予想
売上高	1,059	1,032	▲27	▲2.6%	4,400
営業利益	181	124	▲57	▲31.4%	800
売上高 営業利益率	17.1%	12.1%	▲5.1%	-	18.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	128	71	▲57	▲44.7%	529
売上高 当期純利益率	12.2%	6.9%	▲5.3%	-	12.0%



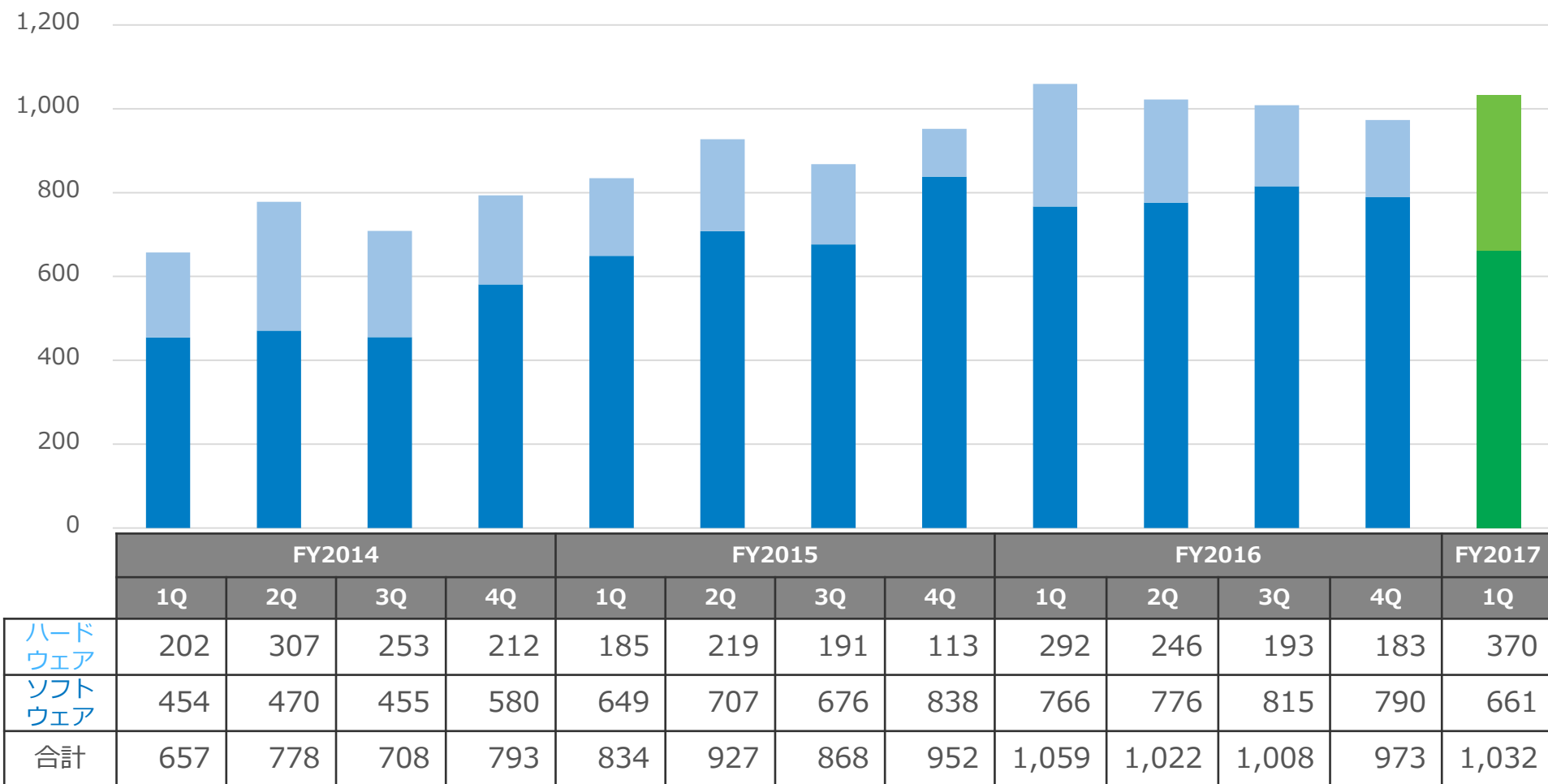
業績：売上高

第1四半期実績：1,032百万円（前年同期比 ▲2.6%）

画像処理プロセッサ搭載演算ボードを中心としたハードウェア事業が堅調

四半期売上高の推移

（単位：百万円）





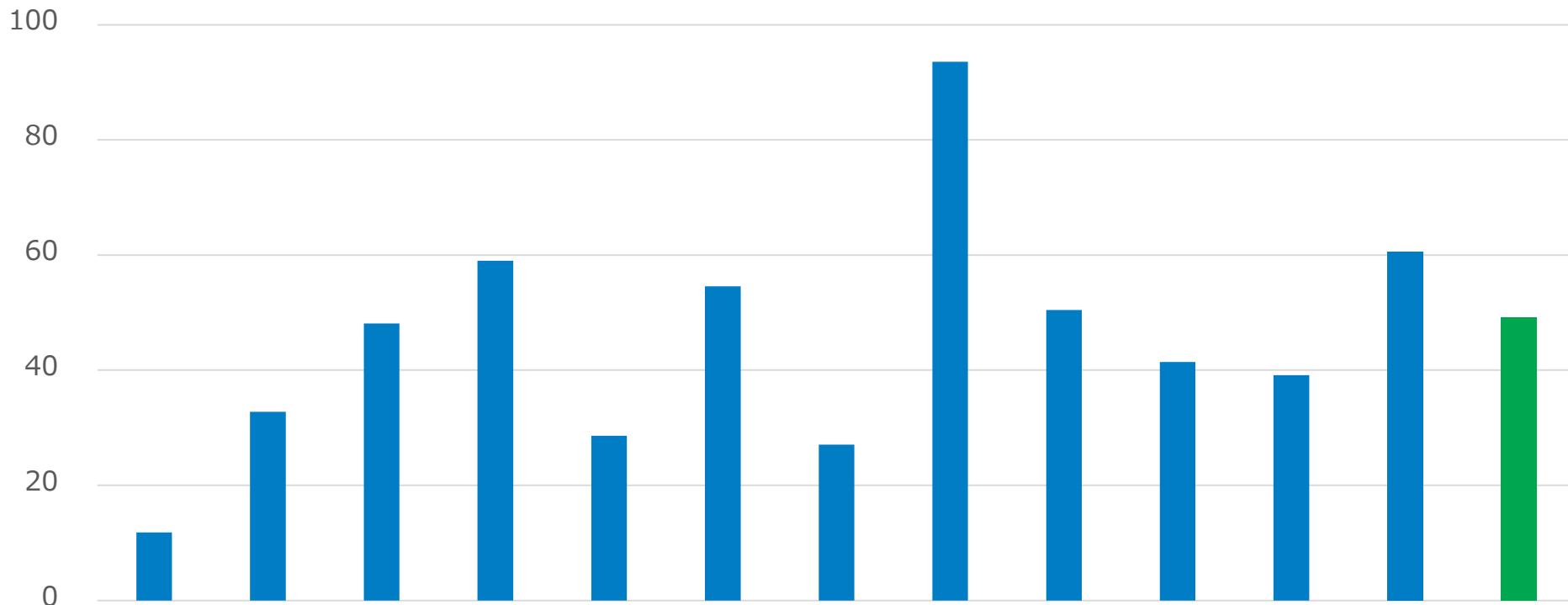
業績：研究開発費

第1四半期実績：49百万円（前年同期比 ▲2.6%）

大容量高速ストレージ・サーバ及び機械学習事業に引き続き投資

四半期研究開発費の推移

（単位：百万円）



	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
研究開発費	11	32	48	59	28	54	27	93	50	41	39	60	49

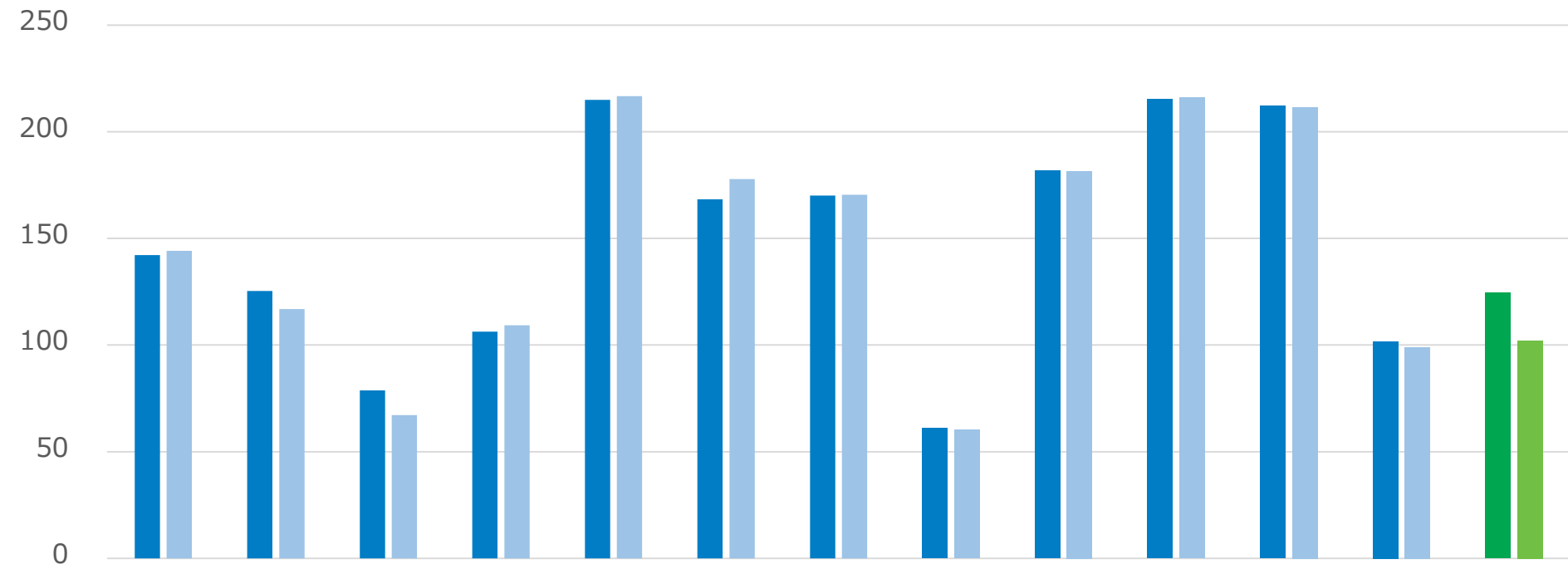


業績：営業利益・経常利益

粗利率悪化及びマーケティング費用等販管費の増加により営業利益減
東証一部への市場変更関連費用を営業外費用で計上

四半期利益の推移

(単位：百万円)



	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業利益	142	125	78	106	214	168	170	61	181	215	212	101	124
経常利益	144	116	67	109	216	177	170	60	181	215	211	99	102

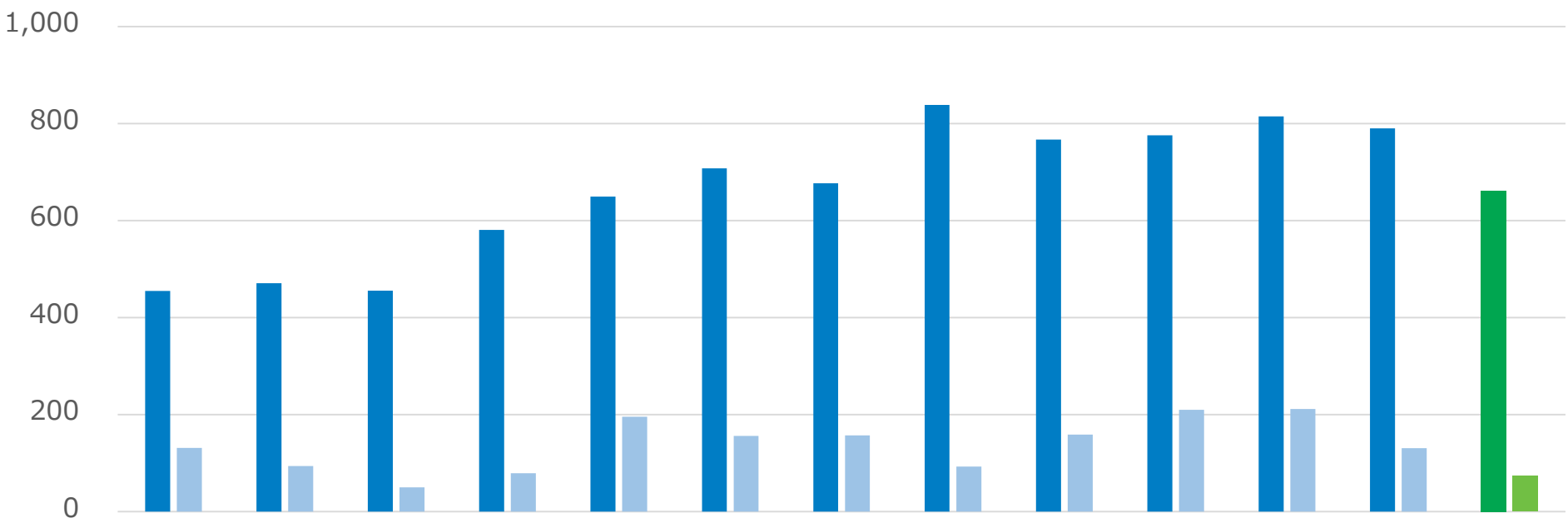
業績：ソフトウェア・サービス事業

第1四半期売上高実績：661百万円、利益実績：73百万円

エンジニア数の伸び悩み及び一部案件の仕掛計上により前年同期比減

業績の推移

(単位：百万円)



	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	454	470	455	580	649	707	676	838	766	776	815	790	661
利益	130	93	49	79	195	156	157	92	158	209	211	130	73



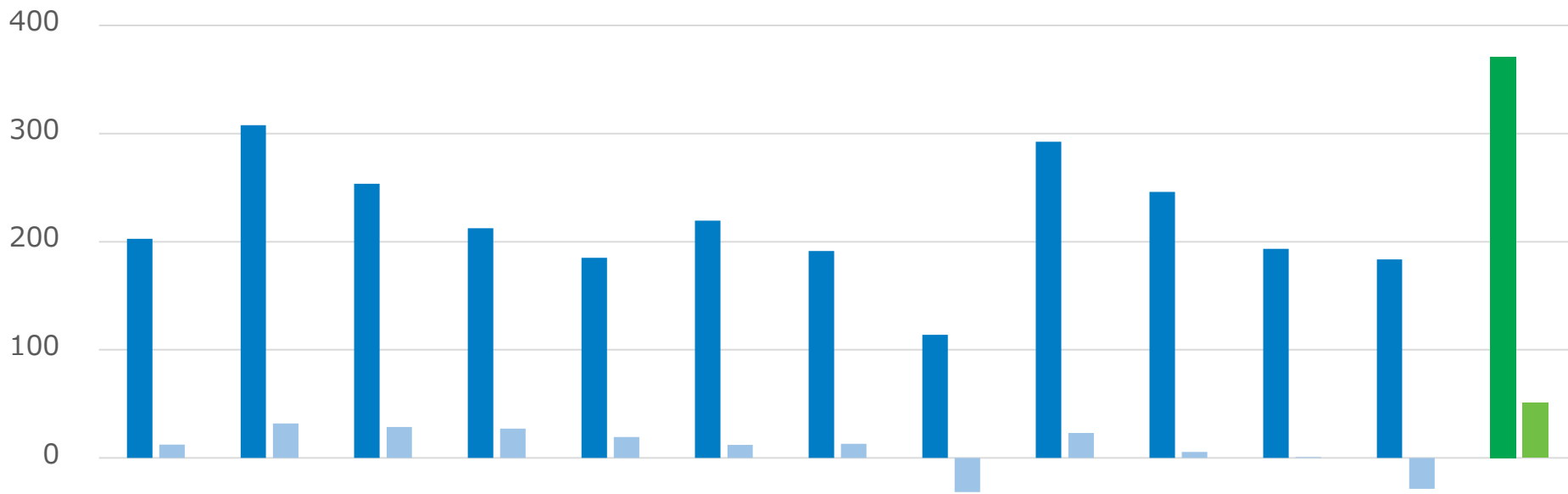
業績：ハードウェア基盤事業

第1四半期売上高実績：370百万円、利益実績：50百万円

画像処理プロセッサ搭載演算ボードが期初想定よりも大きく上振れ

業績の推移

(単位：百万円)



(100)

	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	202	307	253	212	185	219	191	113	292	246	193	183	370
利益	12	31	28	27	19	12	13	▲31	23	5	0	▲28	50



新規事業の進捗：大容量高速ストレージ・サーバ事業

工場で生み出される莫大なデータをもとに、個々の機器レベルで不具合や故障の傾向を学習し事前に予知。本格導入に向け実証実験が進行中

他の産業機器や工場

工場内の他の機器や工場間でビッグデータを共有・活用

Solid State Server"Olive"

大量の学習用データとして保存
AIが学習し異常をリアルタイム判定

工場内の産業機器

個々の機器から大量データが発生
センサでリアルタイムに取得



1. 2017年9月期 第1四半期決算説明
2. 2017年9月期 通期業績予想

業績

- 売上、利益ともに**過去最高**の予想
売上高： **4,400百万円**（前期比 **+8.3%**）
営業利益： **800百万円**（前期比 **+12.6%**）
- 既存事業による安定成長を実現しつつ、新規事業への積極投資を継続

セグメント

ソフトウェア・サービス

- 旺盛な引き合いがあるも社員採用に苦戦。採用活動により多くのリソースをシフトし、優秀なエンジニア獲得に注力
- パートナー企業と新規AI関連事業の共同開発が進行。レベニューシェアモデル等新たなビジネス形態の確立を狙う

ハードウェア基盤

- 医療機器向け画像処理プロセッサ搭載演算ボードが堅調
- 業界団体“IVI”向け実証実験を進め、大容量高速ストレージ・サーバの国内製造業での大量採用を狙う
- 製造業向けトータルソリューション案件が進行



2017年9月期 業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2017年9月期 業績予想	4,400	800	785	529
2016年9月期 実績	4,063	710	707	516
増減率	+8.3%	+12.6%	+11.0%	+2.7%

配当予想

	1株当たり 年間配当金	1株当たり 当期純利益	配当性向
2017年9月期 予想	23円	78円95銭	29.1%
2016年9月期 実績	23円	77円33銭	29.9%
2015年9月期 実績	20円	68円32銭	29.6%



ソフトウェア技術を通じて
全社員の幸福および全てのお客様の成功を追求し、
フィックスターズの技術を活かして
全世界のしあわせ向上に貢献すること

ありがとうございました